

平成29年度 第1回 高P連高校生育成員制 幡多地区 連絡研修協議会

【運営委員会】 (13:00～13:30)

参加人数 22名

司会進行 : 四万十高等学校 教頭

記 録 : 四万十高等学校 事務局

開 会

- 1 幡多地区運営委員長 挨拶
- 2 高知県高等学校PTA連合会 会長代理 挨拶
- 3 協議

議長 : 四万十高等学校 PTA会長
四万十高等学校 校長

- (1) 平成28年度事業報告 : 四万十高等学校 PTA会長
『運営委員会資料』2ページ参照
- (2) 平成29年度事業計画
『運営委員会資料』3ページ参照 質疑なし
- (3) 連絡研修協議会の運営について
『運営委員会資料』3、4ページ参照 質疑なし
- (4) その他

<提案>

- ・各校新しい取組等を共有できる場にして頂きたい。

高知県高等学校PTA連合会事務局 より連絡

1. 保険について

昨年より検討してきた保険については、従来どおり東京海上日動火災保険とする

2. 賠償責任保険について

3. 広報誌について

各県から2校 (PTAのもの、学校新聞ではない)

4. 山口大会について

5. 全国大会 (静岡)

6月26日締め切り

6. 助成金会計について

→幹事校が取りまとめ (2月)

その他の高校はこれまでに決算書を幹事校に提出

7. <提案>

助成金の予算書・決算書→運営委員会ですすようにして頂きたい。

閉 会

司会進行 : 四万十高等学校 教頭

【連絡研修協議会 記録】

1. 開会行事 13:40 ~13:50

- (1) 開会のことば : 四万十高等学校 PTA役員
- (2) 幡多地区運営委員長 : 四万十高等学校 PTA会長 挨拶
- (3) 高知県高等学校PTA連合会 : 事務局長 挨拶
- (4) 高知県教育委員会事務局 : 生涯学習課長補佐 挨拶
- (5) 来賓紹介

2. 全体会議 13:50 ~15:15

- (1) 各校参加者紹介 (学校ごとに起立して紹介)
- (2) 高知県教育委員会事務局生涯学習課より
 - ・若者サポートステーションについて
 - 質疑無し
- (3) PTA活動方針等の説明(各校PTA会長より)各校4分程度
『連絡研修協議会 資料』参照(p. 2~p.18)
→質疑なし
- (4) 本年度生徒指導の取り組みと今後の課題の報告(各校生徒指導主事より)
『連絡研修協議会 資料』参照(p. 2~p.18)
 - 提案「バイク通学について、指導だけでは無理ではないか。寮、下宿のシステムの整備を併せて進めなくてはいけないのではないか。」
 - 「各校、寮、下宿等で育成指導の困難は？」
→なし
 - 「バイク通学について、PTA連合会に上げるような意見は？」
 - 「通学でバイク必要＝正当性あり
本来必要ないが、バイトや抜けで免許取得する生徒もおり(その指導に保護者の協力が必ずしも得られない)、それが問題である。こういったものに対する規制の難しさという悩みもあるということを」
 - 「本校では、申請書を基本的にとらせ、乗りながら危険性を理解させることを考えのベースとしている。子供たちに、きちんと乗れるように指導するのは誰か？許可を出している学校も積極的な指導が必要。」
 - 「保護者・学校が両輪となって指導し、PTA連合会の方で納得させるような形で応援できれば」
- (5) 研究協議
提出議題なし
- (6) その他
なし

休憩 15:32 ~15:45

3. 講演 15:45~16:46

(1) 講師紹介

講師:濱川 博子 氏

(高知県心の教育センター スーパーバイザー)

演題:「高校生をめぐる子育てと親育ち」

(2) 講演

(3) 質疑・応答

質問1 子供に抱き着く癖があるのだが、やめなくてはならない?

回答 やめなくても大丈夫。子供が精神的には上手に育っているように伺える。
嫌な時に「嫌」と言えている。

母親にとって息子は離れにくい。上手く育てば、自然と離れていく。(好きな人が出来た時など→後追いしない。その時には夫婦で。)

お互いに認め、大人として扱う。

(4)お礼のことば : 四万十高等学校PTA会長

(5)講師退室

4. 閉会行事 16:47 ~16:49

閉会のことば : 四万十高等学校PTA役員